

学生の確保の見通し等を記載した書類

東京農工大学大学院工学府

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	・・・ 2
① 学生の確保の見通し	・・・ 2
ア. 定員充足の見込み	・・・ 2
イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要	・・・ 3
ウ. 学生納付金の設定の考え方	・・・ 6
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	・・・ 7
ア. 博士前期課程の学生確保に向けた取組	・・・ 7
イ. 博士後期課程の学生確保に向けた取組	・・・ 7
(2) 人材需要の動向等社会の要請	・・・ 8
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・・・ 8
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・ 8

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

博士前期課程

東京農工大学工学府博士前期課程は、平成31年度に行った工学部改組において設置した6学科（生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、化学物理工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科）と対応する新6専攻（生命工学専攻、生体医用システム工学専攻、応用化学専攻、化学物理工学専攻、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻）を設置する（図1）。

世界規模の感染症対策やロボティクス、DXによるSociety 5.0の実現に取り組む高度専門人材をより多く社会に輩出するため、入学定員を17名（5%）増の357名に設定し、増員分は生体医用システム工学専攻、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻に配分する。

新専攻の基礎となる現専攻の過去5年間の志願状況及び定員充足率、本学卒業生の内部進学率の実績、改組後に入学した学部生を対象とした大学院進学希望調査に加え、社会・地域が求める人材需要の見通しを反映する求人企業へのアンケート調査のデータを総合的に検討した結果、質を担保しつつ定員を充足することが可能であると判断した。

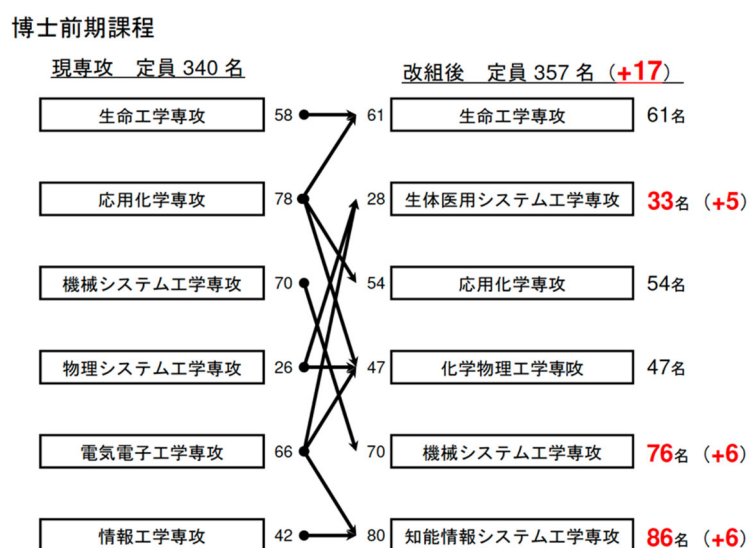


図1 博士前期課程の入学定員

博士後期課程

東京農工大学工学府博士後期課程は、現行の4専攻（生命工学専攻、応用化学専攻、機械システム工学専攻、電子情報工学専攻）を博士前期課程と同時に改組し、新6専攻（生命工学専攻、生体医用システム工学専攻、応用化学専攻、化学物理工学専攻、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻）を設置する（図2）。

世界規模の感染症対策やロボティクス、DXによるSociety 5.0実現を先導する高度博士人材をより多く社会に輩出するため、入学定員を3名（5%）増の59名に設定し、増員分は生体医用システム工学専攻、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻に配分する。

新専攻の基礎となる現専攻の過去5年間の志願状況及び定員充足率、改組後に入学した学部生を対象とした大学院進学希望調査、社会・地域が求める人材需要の見通しを反映する求人企業へのアンケート調査のデータを総合的に検討した結果、質を担保しつつ定員を充足することが可能であると判断した。

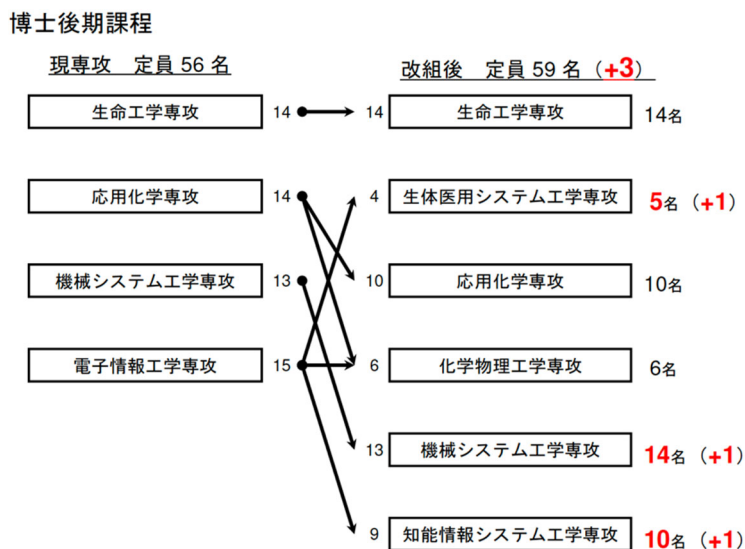


図2 博士後期課程入学定員

イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要

博士前期課程

博士前期課程に関して、新専攻の基礎となる現専攻の過去5年間の志願状況及び定員充足率（表1）の実績は、入学定員を超える志願者（5年間の平均倍率1.36倍）に対し、適正な定員管理を行っていること（5年間の平均充足率105%）を示している。

表1 過去5年間の志願状況及び定員充足率（博士前期課程）

専攻	入学定員	H28				H29				H30			
		志願者数	倍率	入学者数	充足率 %	志願者数	倍率	入学者数	充足率 %	志願者数	倍率	入学者数	充足率 %
生命工学	58	77	1.33	63	109	72	1.24	61	105	76	1.31	63	109
応用化学	78	108	1.38	81	104	97	1.24	77	99	105	1.35	82	105
機械システム工学	70	127	1.81	73	104	110	1.57	76	109	109	1.56	71	101
物理システム工学	26	41	1.58	26	100	34	1.31	27	104	35	1.35	28	108
電気電子工学	66	88	1.33	74	112	97	1.47	71	108	78	1.18	68	103
情報工学	42	66	1.57	47	112	54	1.29	47	112	54	1.29	44	105
計	340	507	1.49	364	107	464	1.36	359	106	457	1.34	356	105

専攻	入学定員	R1				R2			
		志願者数	倍率	入学者数	充足率 %	志願者数	倍率	入学者数	充足率 %
生命工学	58	80	1.38	63	109	82	1.41	65	112
応用化学	78	92	1.18	82	105	101	1.29	82	105
機械システム工学	70	134	1.91	72	103	124	1.77	73	104
物理システム工学	26	43	1.65	28	108	33	1.27	26	100
電気電子工学	66	81	1.23	65	98	79	1.20	61	92
情報工学	42	53	1.26	42	100	52	1.02	47	112
計	340	483	1.42	352	104	471	1.20	354	104

過去5年間の工学部卒業生の大学院進学率及び内部進学率の実績（表2）は、平均で70%を超える高い内部進学率を示しており、工学部の卒業生が本学大学院への強い進学意欲を有していることの証左であると考えられる。

表2 工学部卒業生の大学院進学率及び内部進学率の実績（過去5年間）

単位：人

学科		年度					計
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
生命工学科	①卒業生数	81	91	89	85	91	437
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	67 (82.7%)	71 (78.0%)	75 (84.3%)	69 (81.2%)	74 (81.3%)	356 (81.5%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	61 (75.3%)	67 (73.6%)	69 (77.5%)	61 (71.8%)	71 (78.0%)	329 (75.3%)
応用分子 化学科	①卒業生数	51	52	46	55	43	247
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	42 (82.4%)	36 (69.2%)	37 (80.4%)	39 (70.9%)	35 (81.4%)	189 (76.5%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	31 (60.8%)	32 (61.5%)	29 (63.0%)	33 (60.0%)	30 (69.8%)	155 (62.8%)
有機材料 化学科	①卒業生数	45	46	47	52	44	234
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	40 (88.9%)	34 (73.9%)	38 (80.9%)	45 (86.5%)	38 (86.4%)	195 (83.3%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	37 (82.2%)	34 (73.9%)	37 (78.7%)	44 (84.6%)	36 (81.8%)	188 (80.3%)
化学システム 工学科	①卒業生数	35	45	42	41	36	199
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	30 (85.7%)	41 (91.1%)	38 (90.5%)	33 (80.5%)	32 (88.9%)	174 (87.4%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	29 (82.9%)	39 (86.7%)	38 (90.5%)	32 (78.0%)	31 (86.1%)	169 (84.9%)
機械システム 工学科	①卒業生数	142	126	142	136	141	687
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	110 (77.5%)	97 (77.0%)	99 (69.7%)	108 (79.4%)	110 (78.0%)	524 (76.3%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	105 (73.9%)	92 (73.0%)	92 (64.8%)	105 (77.2%)	102 (72.3%)	496 (72.2%)
物理システム 工学科	①卒業生数	112	48	57	52	63	332
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	94 (83.9%)	36 (75.0%)	36 (63.2%)	33 (63.5%)	47 (74.6%)	246 (74.1%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	89 (79.5%)	29 (60.4%)	28 (49.1%)	25 (48.1%)	38 (60.3%)	209 (63.0%)
電気電子 工学科	①卒業生数	55	107	108	102	112	484
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	35 (63.6%)	86 (80.4%)	90 (83.3%)	77 (75.5%)	91 (81.3%)	379 (78.3%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	29 (52.7%)	81 (75.7%)	84 (77.8%)	72 (70.6%)	85 (75.9%)	351 (72.5%)
情報工学科	①卒業生数	68	67	57	69	68	329
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	51 (75.0%)	49 (73.1%)	42 (73.7%)	51 (73.9%)	47 (69.1%)	240 (72.9%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	49 (72.1%)	49 (73.1%)	40 (70.2%)	49 (71.0%)	46 (67.6%)	233 (70.8%)
総計	①卒業生数	589	582	588	592	598	2949
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	469 (79.6%)	450 (77.3%)	455 (77.4%)	455 (76.9%)	474 (79.3%)	2303 (78.1%)
	③内部進学者数 (内部進学率)	430 (73.0%)	423 (72.7%)	417 (70.9%)	421 (71.1%)	439 (73.4%)	2130 (72.2%)

注) 大学院進学率は、②大学院進学者数/①卒業生数により算出
内部進学率は、③内部進学者数/①卒業生数により算出

また、大学院改組後の新専攻に進学することが想定される、平成31年度の工学部改組後に入学した学部生（令和3年度までに入学した3学年分）を対象とした大学院進学希望調査の結果（図3）は、入学時点において約70%の学生が大学院博士前期課程まで進学することを念頭に置いていること、うち9%の学生は博士後期課程への進学まで考えていることなどを示している。学科と対応する6専攻への改組は、学部から大学院まで一貫した教育研究体制を整備するための取組であり、学部改組時に構想したケヤキ型教育に対する期待が現れていると考えられる。

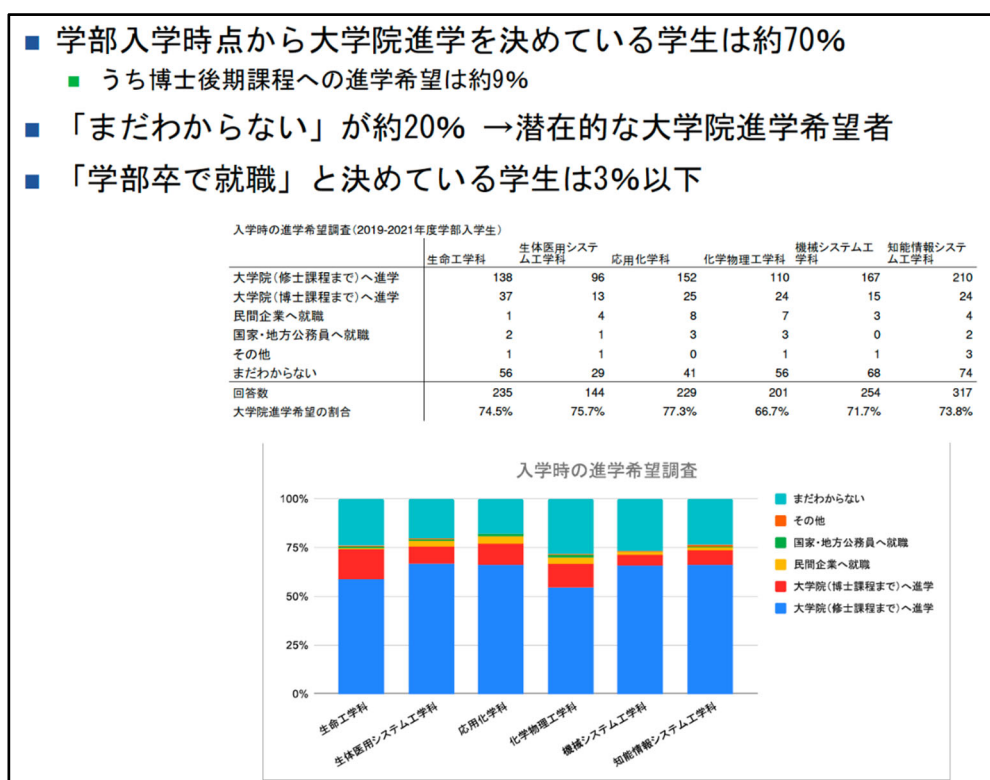


図3 学部改組後入学生の大学院進学希望調査（R1～R3入学生の累計）

このように、過去の志願状況、充足率、内部進学率、進学希望調査の結果を総合的に検討し、本学工学府博士前期課程は、357名（17名増）の入学定員を十分に満たすことができると判断する。

博士後期課程

博士後期課程に関して、新専攻の基礎となる現専攻の過去5年間の志願状況及び定員充足率（表3）の実績は、令和2年度を除いて入学定員を充足している。令和2年度の充足率が100%を切っているのは、当初2020年10月入学予定で合格していた留学生4名が、新型コロナウイルス感染拡大の影響のために特例として入学延期を認められ、翌2021年4月入学となったためである。これらが渡日延期にならなければ定員は満たしていた。

また、前述した平成31年度の工学部改組後に入学した学部生（令和3年度までに入学した3学年分）を対象とした大学院進学希望調査の結果（図3）の結果より、学部生の約9%が入学時点において博士後期課程への進学を検討していることを示している。

このように、過去の志願状況、充足率、進学希望調査の結果を総合的に検討し、本学工学府博士後期課程は、59名（3名増）の入学定員を十分に満たすことができると判断する。

表3 過去5年間の志願状況及び定員充足率（博士後期課程）

専攻	入学定員	H28				H29				H30			
		入学 者数	内 社会人	内 留学生	充足率 %	入学 者数	内 社会人	内 留学生	充足率 %	入学 者数	内 社会人	内 留学生	充足率 %
生命工学	14	12	(4)	(2)	86	17	(5)	(3)	121	16	(5)	(3)	114
応用化学	14	21	(6)	(3)	150	13	(6)	(1)	93	17	(8)	(1)	121
機械システム工学	13	17	(5)	(2)	131	18	(6)	(3)	138	19	(11)	(2)	146
電子情報工学	19*	19	(5)	(4)	100	14	(4)	(5)	74	14	(3)	(7)	74
計	60	69	(20)	(11)	<u>115</u>	62	(21)	(12)	<u>103</u>	66	(27)	(13)	<u>110</u>

専攻	入学定員	R1				R2			
		入学 者数	内 社会人	内 留学生	充足率 %	入学 者数	内 社会人	内 留学生	充足率 %
生命工学	14	7	(2)	(2)	50	11	(1)	(3)	79
応用化学	14	12	(4)	(0)	86	10	(2)	(2)	71
機械システム工学	13	19	(8)	(6)	146	17	(8)	(4)	131
電子情報工学	15	25	(11)	(9)	167	16	(12)	(8)	107
計	56	63	(25)	(17)	<u>113</u>	54	(23)	(17)	<u>93</u>

※ 電子情報工学専攻の定員は、R1年度以降、共同サステイナビリティ研究専攻の設置に伴い4名減

ウ. 学生納付金の設定の考え方

本学の学生納付金は、「国立大学等の授業料その他費用に関する省令（平成16年文部科学省令16号）」に定める標準額と同額（入学料 282,000円、授業料年額 535,800円、検定料 30,000円）に設定している。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

ア. 博士前期課程の学生確保に向けた取組

工学府のホームページに大学院改組の概要を特集するページを作成し、ケヤキ型教育の理念を始めとする本学大学院博士前期課程の教育の特色、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、入試情報などの情報を発信する。各専攻のホームページでは、教員の研究、在学生の活躍、進路等について紹介し、専攻の魅力を広く発信し、志願者の確保に努める。

専攻ごとに、大学院博士前期課程の志願者を対象とした大学院進学説明会を開催する。コロナ禍での対応となることが想定されるため、対面とオンラインのハイブリッドで開催し、遠隔地からも参加できるように配慮する。

また、外国人留学生の受入を促進するため、英語のみで修了することが可能な国際専修コースをすべての専攻に設ける。国費外国人留学生優先配置プログラムや独自財源をもとに奨学金を支給する外国人留学生特別プログラム入試（ASEAN・日本連携エンジニアリーダー育成プログラム）を実施し、ASEAN地域を中心に優秀な留学生を国際専修に受け入れる。海外協定校を訪問して入試広報するとともに、留学生の短期受入（セメスター受入、STEPプログラムなど）を通じて国際交流を推進し、大学院博士前期課程への入学につなげる。

さらには、社会人の多様なキャリア形成を支援するため、社会人特別入試を実施し、広く受け入れる。

イ. 博士後期課程の学生確保に向けた取組

工学府のホームページに大学院改組の概要を特集するページを作成し、ケヤキ型教育の理念を始めとする本学大学院博士後期課程の教育の特色、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、入試情報などの情報を発信する。各専攻のホームページでは、教員の研究、在学生の活躍、進路等について紹介し、専攻の魅力を広く発信し、志願者の確保に努める。

専攻ごとに、大学院博士後期課程の志願者を対象とした大学院進学説明会を開催する。コロナ禍での対応となることが想定されるため、対面とオンラインのハイブリッドで開催し、遠隔地からも参加できるように配慮する。

また、外国人留学生の受入を促進するため、英語のみで修了することが可能な国際専修コースをすべての専攻に設ける。国費外国人留学生優先配置プログラムや独自財源をもとに奨学金を支給する外国人留学生特別プログラム入試（ASEAN・日本連携エンジニアリーダー育成プログラム）を実施し、ASEAN地域を中心に優秀な留学生を国際専修に受け入れる。海外協定校を訪問して入試広報するとともに、留学生の短期受入（セメスター受入、STEPプログラムなど）を通じて国際交流を推進し、大学院博士後期課程への入学につなげる。

さらには、社会人の多様なキャリア形成を支援するため、社会人特別入試を実施し、広く受け入れる。これまでも、本学の工学府博士後期課程における産学連携共同研究をきっかけとした社会人博士への入学実績は高く、入学者の1/3に相当する。社会人博士の受入実績が高い企業を中心に訪問し、社会人博士入試説明会を開催する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

東京農工大学は、「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SE NSE: Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth)を基本理念として標榜し、「持続発展可能な社会の実現」にむけ、社会や自然環境と調和した科学技術の進展、課題解決とその実現を担う人材の育成を目的としている。この基本理念のもと、工学府では、「世界を変える新しい知を創生すること」をミッションと定め、その実現に寄与する人材を養成すべく教育研究に取り組んでいる。世界を変える新しい知を創生するためには、「アイデンティティ（自主性・独立性及び専門性）」と「ダイバーシティ（多様性・協働性及び学際性）」を身につけ、複雑多様化した現代社会の持続的な発展と問題解決に自ら挑戦し続けることが重要である。このため、工学府の各専攻は、自然科学の基礎知識や専攻がカバーする学問分野に関する専門知識を教授して専門性を深化させるのみならず、専門が異なる他者との協力・協働を通じて、持続的な問題の解決に資する研究開発を遂行するために必要な学際性や多面的な思考力を身につけ、さらには世界に向けて情報発信を行うことによりグローバル社会で幅広く活躍できる人材の養成を目的とする。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

社会・地域が本学工学府に求める人材需要の見通しを明らかにするため、令和3年7月、本学工学府への求人企業397社に対してアンケート調査を実施し、92社から回答を得た。アンケート項目は、別添の資料1に示す。なお、アンケートを依頼する際には、すべての専攻について、教育研究の特色とディプロマ・ポリシーを説明する資料を添付した。

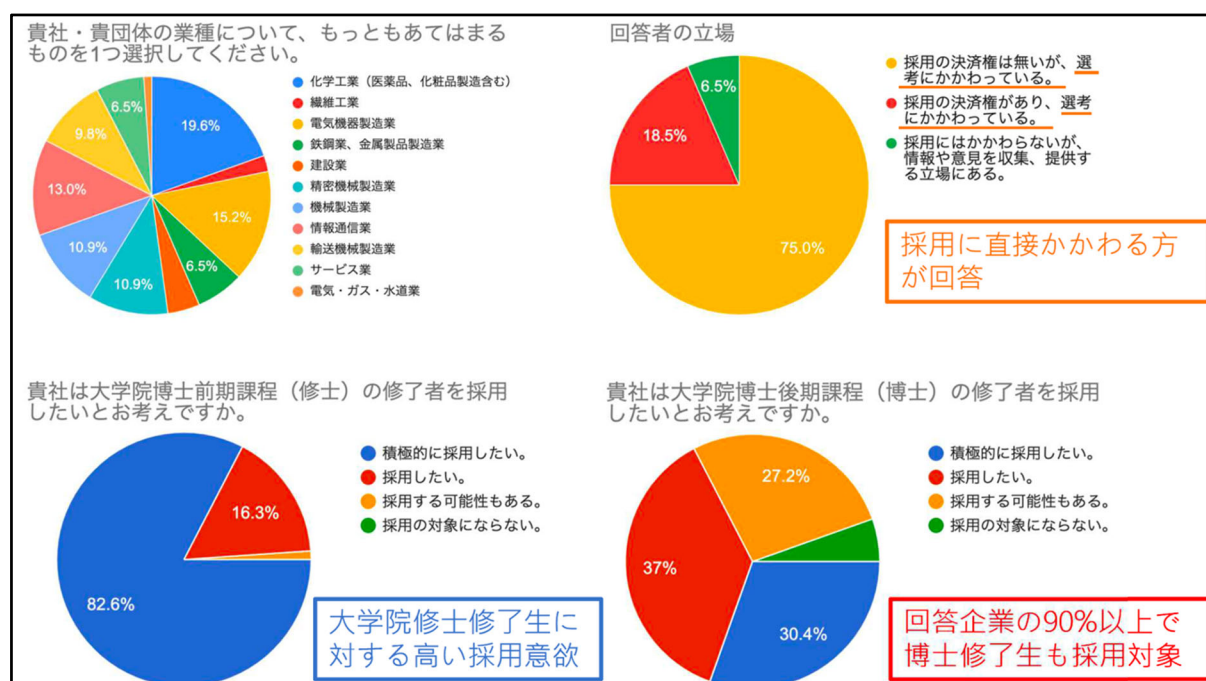


図4 求人企業アンケート調査（R3年7月実施）

アンケートの結果（図4）、工学府新6専攻の幅広い専門性をカバーする多種多様な業種の企業において実際に採用選考に関わっている立場の方から回答があり、博士前期課程修了生については回答者の99%が「積極的に採用したい」または「採用したい」を選択、博士後期課程修了生についても、90%以上の企業が採用の対象であるとの回答を得た。

また、「新6専攻が育成する人材の社会的必要性」について、専攻ごとに回答を求めた結果（図5）からは、いずれの専攻が育成する人材についても、これからの社会において必要であるとの回答が得られた。

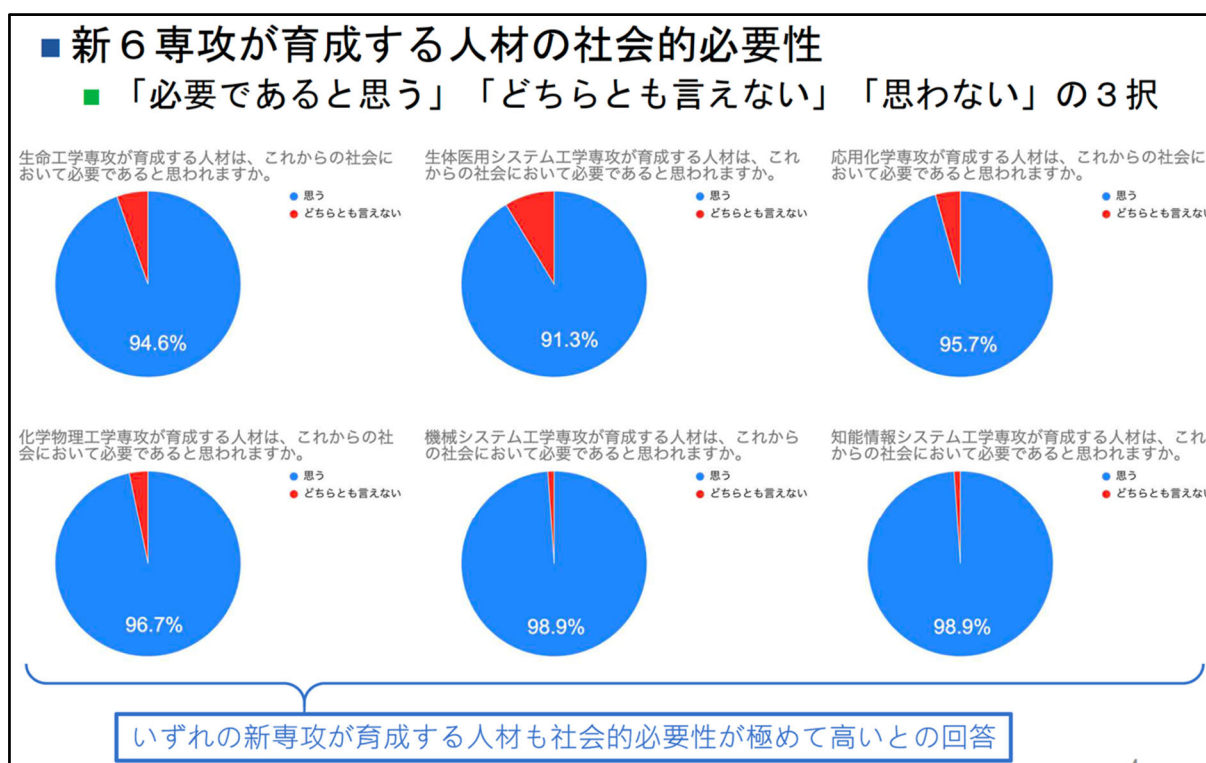


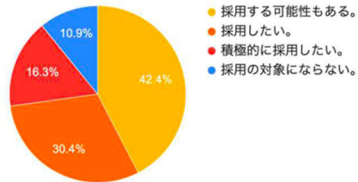
図5 新6専攻が育成する人材の社会的必要性（求人企業アンケート調査、R3年7月）

専攻ごとに、修了者が採用対象となるか回答いただいた結果（図6）からは、すべての専攻の修了者に対して高い採用意欲が示されている。特に、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻の修了者については、幅広い業種において「積極的に採用したい」とする意向が認められた。この傾向は、H30年度に経産省が報告した「理工系人材需給状況に関する調査結果」とも一致している。

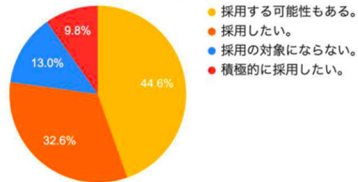
■ 新6専攻の修了者に対する採用意欲

■ 「積極的に採用したい」「採用したい」「採用する可能性もある」「採用の対象にならない」の4択

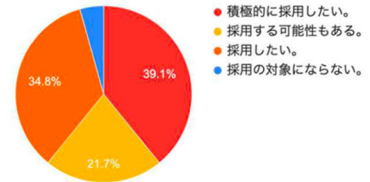
生命工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。



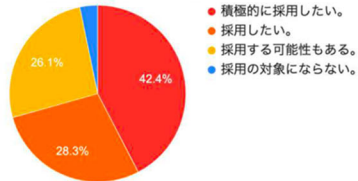
生体医用システム工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。



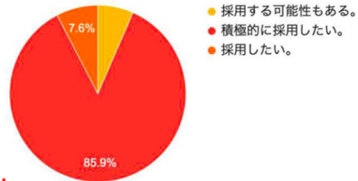
応用化学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。



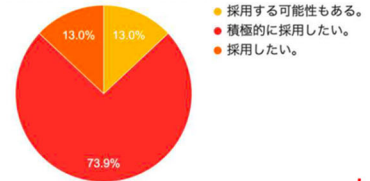
化学物理学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。



機械システム工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。



知能情報システム工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。



すべての専攻の修了者に対して高い採用意欲がうかがえる

特に機械システム工学、知能情報システム工学分野において「積極的採用」の意向がみられる

図6 新6専攻の修了者に対する採用意欲（求人企業アンケート調査、R3年7月）

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にかかる企業調査

本学大学院工学府（博士前期課程、博士後期課程）では、地球規模の課題を解決し、Society5.0の実現に資する高度専門技術者・研究者の育成に向けて、令和5年度に、6専攻体制（生命工学専攻、生体医用システム工学専攻、応用化学専攻、化学物理工学専攻、機械システム工学専攻、知能情報システム工学専攻）に組織改組するための準備を進めております。社会が求める人材を育成することは大学の使命であり、この度は、新6専攻の社会ニーズを把握するためのアンケート調査をお願いしたいයි。所要時間は5分程度となります。大変お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

東京農工大学 大学院工学府 専攻改組作業部会

 fu1706@go.tuat.ac.jp（共有なし） [アカウントを切り替える](#)



*必須

はじめに、貴社についてお伺いいたします。

貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、お教えてください。*

選択

貴社・貴団体の業種について、もっともあてはまるものを1つ選択してください。*

選択

アンケートにお答えいただいている方についてお教えてください。*

- 採用の決済権があり、選考にかかわっている。
- 採用の決済権は無いが、選考にかかわっている。
- 採用にはかかわらないが、情報や意見を収集、提供する立場にある。
- 採用にかかわっていない。

貴社は大学院博士前期課程（修士）の修了者を採用したいとお考えですか*

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

貴社は大学院博士後期課程（博士）の修了者を採用したいとお考えですか*

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

本学大学院工学府では、地球規模で進行する新型コロナウイルスへの対応やSociety5.0実現に向けたDX推進などにおいてグローバルに活躍する高度専門技術者・研究者の育成を考えています。

貴社は感染症対策に向けた研究開発に取り組むことを検討していますか *

- 検討しており、実施している。
- 検討している。
- 検討していないが、今後検討したい。
- 検討していない。

貴社はDX推進に向けた研究開発に取り組むことを検討していますか *

- 検討しており、実施している。
- 検討している。
- 検討していないが、今後検討したい。
- 検討していない。

1/7 ページ

次へ

フォームをクリア

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



学生確保(資料) 2

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にかかる企業調査

🔗 fu1706@go.tuat.ac.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

生命工学専攻

生命工学専攻の教育・研究の概要についてご確認いただき、このページ下部の質問にご回答ください。

【特色】

生命現象のしくみを理解し、それを応用して私たちの暮らしに役立てることを追求する研究分野です。化学、生命科学、医工学など様々な融合分野で活躍できる生命工学のエキスパートを育成します。

【教育・研究】

生命工学専攻

生命工学から新たな研究分野・産業 (医療機器・医療材料、環境・エネルギー、食品・医薬品) の創出へ

生命工学分野を網羅する多彩な研究領域



- 生命工学の応用・発展に寄与する自然科学・工学の基礎知識と倫理観
- 諸問題を俯瞰し、生命工学からのアプローチでコントロール・統括するための最先端の専門知識と技術
- 研究開発から経済的価値の創出・実用化までのプロセスを立案・設計・実行するための知識と能力
- 説得力のあるプレゼンテーション能力と、学際的な協働に必要な確かなコミュニケーション能力と語学力



生命工学専攻が育成する人材は、これからの社会において必要であると思われますか。*

- 思う
- どちらとも言えない
- 思わない

生命工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。*

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

2/7 ページ

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にかかる企業調査

fu1706@go.tuat.ac.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

生体医用システム工学専攻 (2/6)

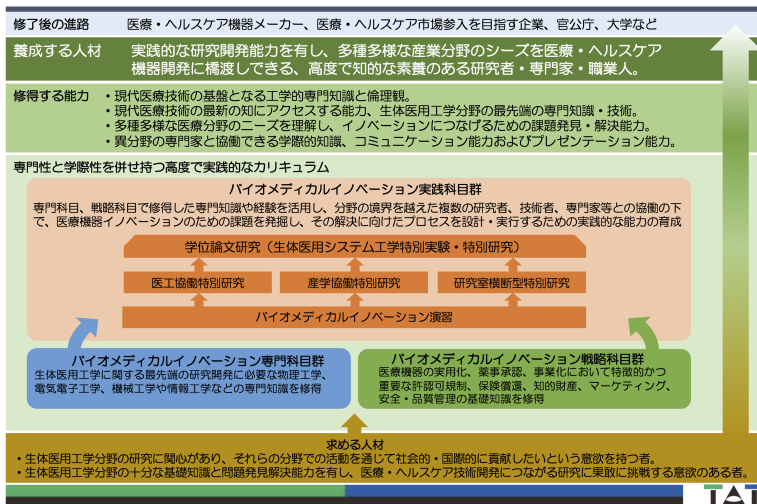
生体医用システム工学専攻の教育・研究の概要についてご確認いただき、このページ下部の質問にご回答ください。

【特色】

医療にかかわる工学技術と生物学・医学を総合的かつ深く理解する能力を有し、革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を育成する物理・電子工学を基礎とする専攻です。

【教育・研究】

生体医用システム工学専攻



生体医用システム工学専攻が育成する人材は、これからの社会において必要であると思われますか。 *

- 思う
- どちらとも言えない
- 思わない

生体医用システム工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。 *

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

3/7 ページ

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にかかる企業調査

fu1706@go.tuat.ac.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

応用化学専攻 (3/6)

応用化学専攻の教育・研究の概要についてご確認ください、このページ下部の質問にご回答ください。

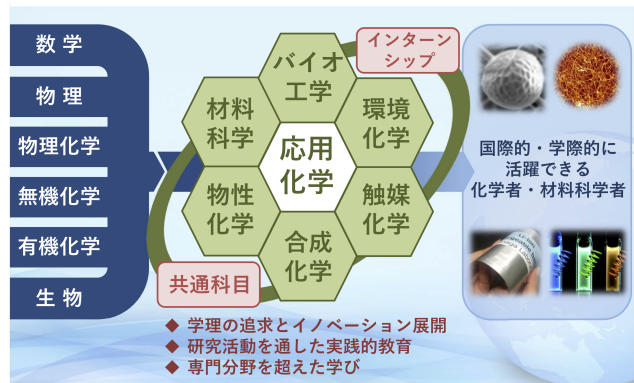
【特色】

基礎と応用に密接に連携させた独自の教育と研究によって、化学の最先端領域や境界・融合領域における研究開発の立案・実現に対応できる人材を養成します。

【教育・研究】

応用化学専攻

化学・材料科学に関する広範な教育課程と最先端の研究を通じて、高度専門的な科学技術の発展において指導的立場を担い、安全安心な持続型社会の形成に貢献する人材を育成する



応用化学専攻が育成する人材は、これからの社会において必要であると思われますか。*

- 思う
- どちらとも言えない
- 思わない

応用化学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。*

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

4/7 ページ

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にかかる企業調査

fu1706@go.tuat.ac.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

化学物理学専攻 (4/6)

化学物理学専攻の教育・研究の概要についてご確認ください、このページ下部の質問にご回答ください。

【特色】

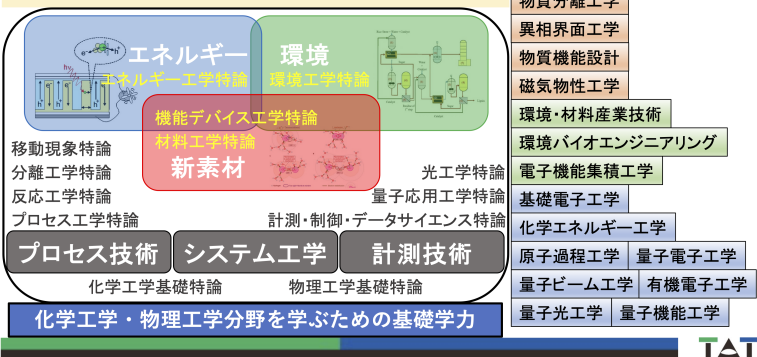
化学工学と物理学とを総合的に教育することで、複合的な課題を解決する革新的な技術・システムを提案し開発できる高度グローバルエンジニアを育成します。

【教育・研究】

化学物理学専攻

化学工学と物理学をベースに、エネルギー/環境/新素材に関わる
新たな研究分野・産業の創出と持続可能な社会の実現へ

専門能力を養成するカリキュラムと多彩な研究分野
⇒幅広い創造力、多様な問題に対する課題設定・解決能力
をもつ人材の育成



化学物理学専攻が育成する人材は、これからの社会において必要であると思われますか。 *

- 思う
- どちらとも言えない
- 思わない

化学物理学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。 *

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

5/7 ページ

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にか かる企業調査

fu1706@go.tuat.ac.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

機械システム工学専攻 (5/6)

機械システム工学専攻の教育・研究の概要についてご確認いただき、このページ下部の質問にご回答ください。

【特 色】

四力学を中心とした機械系科目に加え数学とICTスキルを体系的に教育し、航空宇宙、スマートモビリティ、デジタルものづくり、ロボティクス・ナノメカニクスなどの幅広い機械系分野で活躍できる人材を育成します。

【教育・研究】

機械システム工学専攻

数学・物理学の高い基礎的解析能力と機械システム工学の幅広く深い専門知識に基づいて、環境と調和して**持続発展可能な科学技術立脚社会**をグローバルスケールで実現するための**Unique & Bestな先進的機械システムを設計・創造**し、世界の社会・文化に関する深い理解・洞察と豊かなコミュニケーション能力で**国際的に活躍できる高度な技術者・研究者を養成**する。

広範な分野で「世界初」の研究活動

- 充実した約30研究室と、連携大学院の13研究室
- 技術者・研究者としての素養を養う
- 多数のドクター（社会人含む）を輩出

柔軟なカリキュラムと実践的な教育指導

- 学生個人の興味をより一層深め、**多様性の枝を拡げる実践的學型教育**
- 学際的な知識・分野横断した知を融合した発想を持つ人材育成



機械システム工学専攻が育成する人材は、これからの社会において必要であると思われませんか。*

- 思う
- どちらとも言えない
- 思わない

機械システム工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。*

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

6/7 ページ

[戻る](#) [次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

国立大学法人東京農工大学 大学院工学府 専攻改組にかかる企業調査

fu1706@go.tuat.ac.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

知能情報システム工学専攻 (6/6)

知能情報システム工学専攻の教育・研究の概要についてご確認いただき、このページ下部の質問にご回答ください。

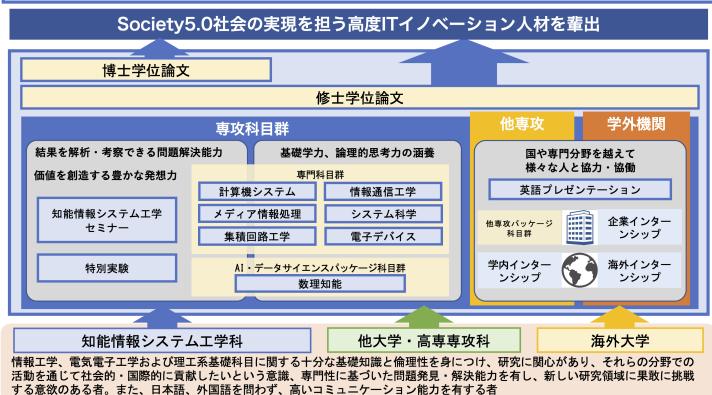
【特色】

情報工学と電気電子工学の基礎を確実に身につけ、さらに最新のデータ処理技術、知能化技術についても重点的に教育することで、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度ITイノベーション人材を養成します。

【教育・研究】

知能情報システム工学専攻

情報工学、電気電子工学の先端技術及び関連する専門知識を修得し、社会的・学術的ニーズに基づく新たな課題の設定、その解決方法の探求・考案、また専門が異なる者との協働を通じて、高度な研究開発力・問題解決能力を備え、国際的に活躍できる高度IT技術者・研究者を育成する。



情報工学、電気電子工学および理工系基礎科目に関する十分な基礎知識と倫理性を身につけ、研究に関心があり、それらの分野での活動を通じて社会的・国際的に貢献したいという意欲、専門性に基づいた問題発見・解決能力を有し、新しい研究領域に果敢に挑戦する意欲のある者。また、日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有する者



知能情報システム工学専攻が育成する人材は、これからの社会において必要であると思われますか。*

- 思う
- どちらとも言えない
- 思わない

知能情報システム工学専攻の修了者を、貴社の採用対象としてどのようにお考えになりますか。*

- 積極的に採用したい。
- 採用したい。
- 採用する可能性もある。
- 採用の対象にならない。

7/7 ページ

[戻る](#)

[送信](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは Tokyo University of Agriculture and Technology 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

